



ネパールの子どもたちへ



多くの本の収益の一部を、ネパールの子どもたちのために、寄付させて頂くことにしました。その理由は？→ウラ面へ



空間心理カウンセラー 磯馴 勇司

# 夢と希望のクリスマスプレゼントを贈る アマゾンチャリティーキャンペーン

12月23日(木)の0:00~24日(金)の23:59の期間中に、アマゾンでのチャリティーイベントを開催いたします。期間中に磯馴勇司氏の書籍「人生の模様替え」を購入して頂いた全員に特別なクリスマスプレゼントをご用意しました!

※クリスマスプレゼントは、期間中にご購入頂いた方のみになります

**12/23(木)・24(金)**  
運命の2日間



クリスマス心理カウンセラー  
衛藤信之先生との  
対談音声をプレゼント  
(非売品)



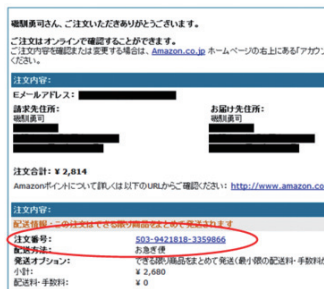
魔法の質問、質問家  
マツダミヒロさんとの  
対談音声をプレゼント  
(非売品)

磯馴勇司からの  
全員プレゼント

1. 人生の模様替え-部屋と心の物語-誕生秘話音声ファイルプレゼント
2. 部屋と心繋がり音声ファイルプレゼント

全員協賛プレゼント 多数あり!

## 応募方法



① 書籍を注文後、アマゾンから送られてくる注文確認メールをご確認ください。



② そこに記載されている注文番号をコピー&ペーストして、専用の応募フォームよりお申込みください。

専用の応募フォームはキャンペーンが始まる23日よりブログで公開します。  
<http://ameblo.jp/room-serapy/>もしくは、人生の模様替えで検索!

特典は、23日、24日に本をご購入頂いた方に限りプレゼントさせていただきます。

なぜ、チャリティをしようと思ったのか?  
それは、友人から驚くべきネパールの野球事情を聞いてしまったです。  
その衝撃の内容とは!?くわしくはウラ面でお話させていただきます。



先日、高校の友人と久しぶりに会う話をしていました。その友人は、学生の頃からネパールで野球を普及する活動を行っていました。1999年、ネパールで初めて日本人が野球を教えることに。当初の目的は、身分制度が激しく、文化の違いを受け入れられないことをどうにかできないかと考えた先に、二つの手段として野球を使っていたようです。

民族のコミュニケーションをよりよいものにする為の手段。ネパールの少年達に「一番最初に教えたこと。それは、『これが、ボールです。』ということからの出発でした。草原で牛が歩いている広場で、野球をする。ルールも良く分からず、ただ楽しむ為に行っていたもの。友人は、仕事をしながらボランティアで彼らを支援していきました。

そこから8年経った去年、ネパールで、ある一人の選手が誕生します。中前は、イツソー君。かれは、ネパールの中で群を抜く実力をもっていました。ピッチャーで120キロの球を投げれるようにならなりました。道具も、場所も、環境も何も整っていない状況の中で、一生懸命練習していたようです。イツソー君は野球に対して情熱を注ぎ、プロ野球選手になると、夢を掲げていました。

実は、ネパールで『夢』というものを考えることは、ほとんどないようです。貧しい国なので、高校を卒業したら働いて養っていくのが当たり前。出稼ぎに出ることがほとんどのようです。しかし、コミュニケーションの環として行った野球というものを通して、夢を持つ少年が現れた。だからこそ去年、イツソー君を来日させて、環境を整えてトラライアウ

トを受けさせたようです。練習生として専門学校や色んな場所でトレーニングをして、プロリーグで言えばメジャーな場所ではありませんが)のトラライアウトを受けた。そこで日本人との実力の違いに、イツソー君は涙したようです。『なんで、日本人はこんなに上手いんだ...』と。涙ながらに帰国したイツソー君。

そして、今年、再び来日したときに、予想以上にイツソー君は大きく成長を見せていました。去年max120キロだった球速が、なんと140キロまで加速していた。彼は去年、日本人に交わりながらトラライアウトを受けたことで衝撃を受け、悔しくて猛練習をしていたようです。グラウンドもない草原で野球の練習をする。道具もろくに揃っていない状態。それでも彼は、大きな成長を遂げました。現在22歳。親からは、そんなことは辞めて働けと言われ続けている。でも、夢を追うことを諦めず、自分ができることに全力を尽くした。

そして彼は、今月に日本のある球団と契約を結ぶことができました。テレビで映るような球団ではありませんが、独立リーグとしてプロで野球ができる環境。イツソー君は、自分に言い訳せず、夢を掴む一歩を遂げたのです。そして、さらに新たなチャンスが、野球がなかったネパールが、チームができて南アジア選手権という国際大会に出場できるようになったのです。

しかし、そこに二つの問題が生じてきました。今までは、募金で活動を支えてきたのですが、参加するにあたっての費用が足りない。その費用がなければ参加できないということ。その費用の目標金額が150万円ですが、今

の段階では10万円ほどしか集まっています。さらに、期限は12月末まで。目標金額は150万円ですが、大会に参加するということだけであれば80万円あれば可能なようです。(残りの金額は、その後の活動にあてる為)

ぼくは全額を援助することはできませんが、できる限りサポートするべく、一口50000円の募金に協力させて頂きました。もし、ご協力頂ける方がいれば、どうぞよろしくお願ひします。

●こんな方に、ご協力頂きたいと願っています。

今回、募金などの関係も12月末までと差し迫っている為、沢山の方に協力頂ければという気持ちがあります。正しい二つだけご協力頂くにあたって、条件を設定させて頂きます。その条件とは、イツソー君を初めとする、ネパールの皆を応援することが、あなたの応援(メリット)に繋がると感じれる方には、このアマゾンチャリティーキャンペーンに是非ともご協力頂ければと思っております。

なぜ、この条件を設定したのか? 誰かの為に、何かをすること。それ自体は美しいことです。でも、自分を犠牲にしてまで、誰かの為に何かをする必要はないのです。誰かの為に、何かをできなくていい。誰かの為にできないという自分こそ、一番大切なことは、あなたにとって一番大切なことは、あなたの為に生きるということなのだから。だからこそ、イツソー君を初めとするネパールの皆を応援することが、あなたの応援(メリット)に繋がると感じれるのであれば、アマゾンチャリティーキャンペーンにご協力頂けると幸いです。

<b>【募金方法】</b>	
今回の寄付募金のお願いにあたり、その受付方法は<銀行振込>と<郵便局振込>にて受け付けさせていただきます。	
<p><b>■銀行振込</b></p> <p>三菱東京UFJ銀行 船場支店 普通口座3984578 「ネパール野球交流活動基金」</p>	<p><b>■郵便振込</b></p> <p>口座番号00940-6-316430 ネパールで野球「ラリグラスの会」</p>
<p><b>【受領証明】</b> ご厚意をお寄せいただきました個人・団体様には、当会より領収証を発行させていただきます。</p>	
<p><b>【事業報告】</b> 本大会終了後、大会結果・収支に関わります報告書を、寄付金をお寄せいただきました個人・団体様全員にお送りいたします。</p>	
<p><b>【問い合わせ先】</b></p> <p>ネパールで野球「ラリグラスの会」代表 小林洋平 [電話] 090-3277-3145          プール学院大学 副学長 松田浩志 [電話] 072-292-7201          プール学院大学 学生課 桑名志麻 [電話] 同上</p> <p>[E-mail] nepal89ph@yahoo.co.jp</p>	
<p>※目標金額に達成せず、あるいは、不測の支障が生じて大会出場が困難になった場合、ご連絡申し上げたうえで、以後のネパールでの野球活動及び次回国際大会での貴重な資金として大切に保管させていただきます。</p>	

彼らに、最高のクリスマスプレゼントを。そして、自分自身にも最高のクリスマスプレゼントを。